

学校教育目標「協働」について

例年以上に早い猛暑日到来から一転しての梅雨入りとなりました。保護者の皆様におかれましては、変化の著しい気候に、お子様の体調管理にも一層気を配られていることと存じます。おかげさまで児童は暑さにも負けず、毎日元気に学校生活を送っています。

また1学期は、本校の教育活動に、厚いご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。子どもたちは、この1学期の間、学校教育目標「主体性 協働 感動・感謝」のもと、1日1日を大切に一生懸命がんばってきました。19日(金)の通知表渡しでは、各担任より、お子様が成長したこと、がんばったことなどをお話させていただきますが、ご家庭におきましても、「通知表」や「懇談内容」も参考にしながら、お子さんのがんばったことに焦点を当てて、たくさん褒めてあげてほしいと思います。そして、39日間の夏休みがお子様にとって充実したものとなるよう心から願っております。

今年度の2学期始業式は、8月28日(水)となります。子どもたちが、元気な明るい笑顔で登校してくることを楽しみにしています。

さて、押水第一小学校では、昨年度より学校教育目標を「主体性 協働 感動・感謝」といたしました。その「協働」に関わって、先日興味深い記事を見つけましたのでご紹介いたします。

記事によると、世界的な企業である「Google 社」が「効果的なチーム(成果を上げるチーム)」には、どのような特徴があるのかということ、世界中の企業・組織から大量のデータを集め、調査・分析してみたところ、「誰がチームのメンバーであるか」よりも「チームがどのように協力しているのか」がより重要であることを突き止めたということです。

チームがより効果的であるために重要なことを順に示すと、以下のようになります。

- ①チームメンバーが、チームに心理的安全性を感じている。
- ②チームメンバーが、チームに相互信頼があると感じている。
- ③チームの役割、計画、目標が明確になっている。
- ④チームメンバーは、仕事が自分にとって意味があると感じている。
- ⑤チームメンバーが、仕事に社会的意義を見出している。

①の「心理的安全性」とは、例えば「チームの中では何を言っても大丈夫で、話しやすい」「チームの中でアイデアを出したら、まずは傾聴してくれる」といったことです。また「困ったときはお互いさまで、助け合うことができる」といったこともこれに含まれます。

極端に言うと、チームの中にいくらずば抜けて優秀な人間がいたとしても、そのチームが「ミスをしたら、それを理由に過剰に非難される」「折角出したアイデアも頭ごなしに否定されたり馬鹿にされたりする」雰囲気・風土であるならば、成果を出し続けることは難しいということだと思います。

押水第一小学校の児童は、家庭や地域の働きかけが非常に厚く、大変素直で仲間と協力し合える素地が育まれていると感じております。子どもたちにとって学校が心理的安全性を感じられる場所であり、その中で子どもたちの協働がさらにパワーアップしていけるよう、今後も努めていきたいと思っております。2学期以降も、よろしくお願いいたします。



通知表の見方について

「よくできた」「できた」「もう少し」は・・・観点別絶対評価です

- ① 学習目標に対して、一人一人の達成度を見る評価をしています。
- ② 各学年の学習目標や内容、評価規準は、文部科学省が告示する学習指導要領を踏まえて作成しています。
- ③ 児童一人一人の学習状況を、きめ細かく分析的に正確にとらえるために、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点に分けて評価しています（国語はこれに書写が加わります）。
- ④ 「よくできた」は、学年目標を十分に達成し、さらに発展的にできている状態
「できた」は、学年目標をほぼ達成している、概ね満足している状態
「もう少し」は、もう少し努力すると学年目標に達する状態 です。



観点別の達成状況を確認して、お子様をほめたり認めたり、さらに励ましたりしていただければと思います。

夏休みに向けて ～生活習慣を整えよう～

子どもたちにとって待ち遠しい夏休みが近付いてきました。1ヶ月以上学校が休みになり、家庭での生活時間が多くなります。夏休みの期間は、普段できない旅行や様々な体験活動ができる貴重な時間である反面、意識していないと生活環境が乱れてしまうこともあります。そこで、夏休みに向けて次のことに気を付けて生活してほしいです。

(1) 起床就寝時刻を変えないようにしましょう

学校が休みになってもできるだけ普段の生活サイクルを変えないようにしましょう。朝起きてから、寝るまでの一日の基本的な活動の流れをお子さんと一緒に確認しておくとういことです。



(2) 体を動かす時間をつくらう

長期休暇になると子どもたちの運動量が減ってしまうことがあります。熱中症の心配のない日には、意識的に外で遊ぶなど一日の中で体を動かす時間をつくりましょう。地域などで行われている体育的なイベントなどに参加してみるのも身体を動かすよい機会となります。

(3) 安全に気を付けよう

毎年、子どもたちにはこれが一番大切だとお話しすることです。長期休暇中は子どもたちが一人で過ごす時間が増えます。とにかく「安全第一に過ごしてほしい」ということです。交通事故、遊びの中での怪我、出かけているときのトラブルへの遭遇など、子どもたちに危険が迫る機会が多くなる時期です。お子さんの外出時など、安全に気を付けること、何かあったときにどのように家の人と連絡をとるかなど、十分ご家庭でご指導ください。



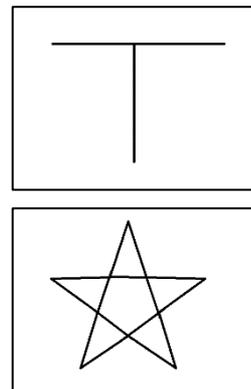
学校より「夏休みの生活」も配付されます。保護者の皆様にもご一読の程よろしく申し上げます。

深い学び特別講座

7月9日、来年度「押水小学校」に統合される押水第一小、宝達小、相見小の3校の5・6年生が、相見小学校に集まり「深い学び特別講座」を受講しました。この講座は、子どもたちに「確かな学力」を育てていくとともに、「学ぶことの楽しさ・奥深さ」を感じてもらうために、昨年度から実施している講座で、講師は、金沢の学習塾・東大セミナーの先生が務めています。

今回のテーマは「考えるとはどういうことか」で、子どもたちに問題を出して、どのように考えればよいかを示唆しつつ、いろいろな角度から「考える」ということを明らかにしていきました。

例えば、第1問目は、「右のT型の図形に線を3本加えて、三角形を5つ作りましょう」という問題でした。この問題では「見方を変えて考える」「思い込みを排して考える」ことの大切さを教えてくれたように思います。この問題は「5本の線で三角形を5つ作る」と読み換えることができます。5本の線で5つの三角形を描いている図形で我々によく知られているものがあります。星の形です。つまり、星の形の中にTを見つければ答えに近づくことができます(見方を変える)。そして星の形の中にTを見つける時に「思い込みを排して考える」ことが重要になります。よかったら少し考えてみてください。答えは、4頁目に掲載しました。



また、第3問目は「情報や知識を整理して考える」ことの大切さを示してくれました。問いは「小学校で習う“彳(さんずい)”の漢字は108文字です。1分間でできるだけたくさん書きましょう」でした。私も試しに書いてみましたが、書けたのは9文字で、思ったより書けませんでした。予告なくいきなり出題された小学生の平均は4～5文字で、これまでに1番多く書けた小学生が14文字だそうです。その小学生の答案に「整理して考える」よさが表れていたということです。

その小学生は、右のような解答をしたそうですが、一番上の段が「場所を表す漢字」、真ん中の段が「状態を表す漢字」、一番下の段が「動きを表す漢字」というように整理して書きます。すなわちその彼は、漢字を覚える際に、ただ闇雲に暗記するのではなく、カテゴリーに分け、考え整理しながら覚えていることが見て取れます。だから、たくさんの漢字を記憶できるだけでなく、記憶を再生することもスムーズになるとのことでした。

海	池	湖	浜	沖	港	滝
浅	深	流				
泳	浮	沈	潜			

その他にも、「情報や知識を言い換えたり置きかえたりして考える」「情報や知識を結びつけて考える」「問いを立てて考える(仮説)」等々のよさ・楽しさを、問題を解きながら、様々に教えてくれました。

最後に、「勉強をしていく上で、親や先生、友達など、励ましてくれる人はたくさんいるけれど、一番心に響く言葉を発してくれるのは誰だろう」との問いかけがありました。先生いわく、それは「自分自身の言葉」であるとのことでした。自分自身でがんばろうと決めて、自分自身を励ます言葉に勝るものはありません。だからこそ、時にやる気が起きないこともあるだろうけれど、それを決して言葉にしてほ



しくないとのことでした。「やりたくない」や「面倒くさい」など、そのような否定の言葉は自分自身の成長を妨げる“負の呪縛”となって自分を縛り付けてしまうからです。

この深い学び講座は、今年度あと2回計画されています。普段の学校での学びとは違った新たな視点から学習をとらえ直し、「学ぶことの楽しさ・奥深さ」をさらに味わってほしいと思います。

6・7月の学校の様子

町図書館見学(1年生)



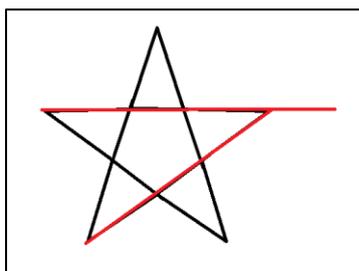
クリンクル見学(4年生)



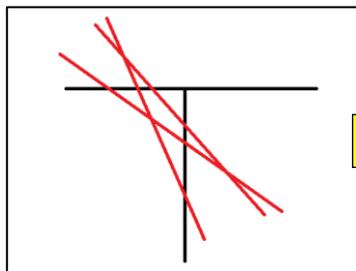
宿泊体験学習(5・6年生)



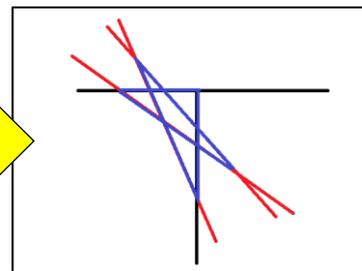
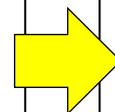
深い学び講座の答え



「星型の中のT」



「問題の答え」



「5本の線で星を描いている」